

2024年10月16日

公益財団法人日本バスケットボール協会
2024年度(7-6月期)第3回理事会 報告

日時:2024年10月16日(水) 14:00~16:00

会場:WEB会議(*一部JBA会議室にて対面)

【報告内容】

1. スポーツ団体ガバナンスコード自己説明公表について
2. その他、報告事項
 - (1) FIBAによる3x3レフェリーの認定について

以上

1. スポーツ団体ガバナンスコード自己説明公表について

スポーツ団体ガバナンスコード（以下「SGC」という）は、年に1回、その取り組み状況について公表すること（自己説明）が求められており、JBAにおいては、昨年10月12日開催の理事会において当該年度の自己説明を決議のうえJBA公式サイトに掲出。併せてJOC・JSPOへ自己説明を行った旨を報告した。

本理事会においては、SGC自己説明内容についてこの1年間の取り組み状況等を反映した形にアップデートしたうえでJBA公式サイトにて公表、JOC・JSPO宛に公表報告書を提出することについて提案され、内容確認のうえ承認された。

[改定箇所は以下の通り]

○No.22（役職員向けコンプライアンス教育）:

最新の開催状況（2024年6月開催）へアップデート

○No.24（審判員向けコンプライアンス教育）:

最新の開催状況（2024年9月開催）へアップデート

○No.30（ガバナンスコード遵守状況開示）:

昨年の開示実績（2023年10月開催）へアップデート

○No.43（地方組織等への情報提供、研修開催）:

昨年の開催実績（2024年1月開催）へアップデート

■詳細内容はJBA公式サイト「スポーツ団体ガバナンスコード」ページをご参照ください。

>> <http://www.japanbasketball.jp/jba/sgc/>

2. その他、報告事項

(1) FIBA による 3x3 レフェリーの認定について

野崎梨奈審判員（宮城県バスケットボール協会所属 / JBA公認 S 級審判員）が、FIBAによる審査を経て、FIBA 3x3 レフェリーとして認定されたことが報告された。

[認定の経緯]

- FIBAからの認定審査推薦依頼（不定期）を受け、Japan Tour EXTREMEなどを担当する3x3トップリーグ担当審判員から年齢、経験などFIBAの条件に合致する審判員をJBA審判グループ、審判委員会3x3部会にて選抜。候補者2名から英語テストなどを経て、野崎氏の推薦を決定。
- 8月11日～14日に孝感（中国）で開催されたFIBA 3x3 Referee Courseに野崎氏を派遣。FIBAの講師による実技、英語テスト、ルールテストの結果、FIBA 3x3レフェリーCライセンス（*下記参照）として認定された。

[参考:FIBA 3x3 レフェリーライセンス]

FIBA公式サイト: <https://fiba3x3.com/docs/fiba-3x3-referee-manual.pdf>

ライセンス	人数	担当できる大会	日本人レフェリー
A	世界で最大15名	オリンピック、ワールドカップ等	
B	世界で最大40名	すべてのレベルの各種大会	名越龍男
C	制限なし	各種国際大会 ユースネーションズリーグ ゾーンカップ 等	野崎梨奈

※現在の国内のアクティブレフェリーはBライセンスの名越龍男氏と野崎氏の2名。

以上